

大村市民の命を守りましょよう

園田議員

(1)自殺予防対策部署(窓口)の設置について

これまでも、再三の指摘と提案をしてきた内容である。産・官・学により横断的な連携を図った新たな部署(窓口)を2011年度の機構改革に合わせて設置し、実行力のある自殺予防を展開することを強く求める。

これまでも、再三の指摘と提案をしてきた内容である。子宮頸がんは、ワクチンで予防できる唯一のガンである。これからの福祉政策で最も重要なことは、予防と保健の充実である。ワクチン助成により、市民の命を守ることに同時に、がん検診の受診率のアップと、思春期における「性と性に対する保健教育」の充実を強く求める。

市長(1)

市内に自殺対策協議会を設置し、県担当の長崎こども・女性・障害者支援センター所長や県央保健所からもアドバイザーとして参加いただき、今後の自殺対策の推進に当たって協議を行った。これから市内自殺対策協議会において、自殺対策の総合的かつ具体的な取り組みについて協議を進めていくが、まずは職員や市民への普及啓発を強化して、誰もが自殺の兆候やサインに気がついて、必要に応じて専門相談機関につなぐ人材

市長(1)

新たな部署の設置については、平成23年度の機構改革において、自殺に対する対策という行政的機能を果たせるセクションを必ず設けなければならぬという方向で進めていく。

市長(2)

6月議会において子宮頸がんワクチン補助について積極的に関心をもち取り組むと発言した

が、来年度からの事業実施を今目指しており、現在、具体的な制度設計に取り組んでいるところである。国や県の動向を見ながら計画を進めているが、仮に国や県の助成が、受けられなかった場合でも、次世代を担う子供たちのために、市単独でも子宮頸がんワクチン接種費用の助成は平成23年度から実施したいと考えている。

教育長(2)

新しい教育基本法の中にも、生命の尊重、自然保護、環境の保全という大きな名目がうたわれている。そういう中で、性教育は生命の尊重のすべての教育の根幹となるものにつながっていくと思ふ。そういう意味からも、教育の中でも指導を強化していこうと思つている。

その他の質問事項

・要保護児童対策について
・認可保育園着服問題について



ミニポートピア長洲で発生した売上着服問題の責任は？ 県立図書館の誘致候補地は一つに絞った方がいいのでは？

大崎議員

(1)競艇事業について

①ミニポートピア長洲において嘱託職員が起こした事件の責任をどう取るのか。
②8月にオープンしたミニポートピア波佐見の経営状況は？
③ポート場がある玖島崎は文教地区であり、公園地区である。公営とはいえギャンブル場があることに違和感があると市民から苦情が寄せられている。70億円をかけて本場の全面建替が計画中であるが、この2カ所は明らかに異質であり、候補地を市民体育館跡地と定めて交渉すべきだと思ふがどうか？

(2)県立図書館誘致について

①大村駅前の市民会館周辺と大村公園横の市民体育館跡地の2カ所を候補地として挙げていたが、この2カ所は明らかに異質であり、候補地を市民体育館跡地と定めて交渉すべきだと思ふがどうか？
②誘致運動においては、費用負担額などの2カ所の候補地の違いを示して署名運動をするべきだと思ふがどうか。

競艇事業管理者(1)

①競艇企業局には懲戒処分に関する規定がなく、また、本庁職員との処分のバランス的な問題もある。現在、人事課に私以下、場長も含めて処分の決定をお願いし、今審議をしていただいている。

競艇企業局次長(1)

②8月4日にオープンしたが、8月中の1日平均入場者数が660人、1日平均売上額が797万円となっており、入場者数、売

競艇事業管理者(1)

③現在の上額とも目標を上回っている状況である。現在の立地場所が理想的だとは思っていない。しかし、移転となると少なくとも200億円はかかる。現在の施設の老朽化の問題を考えた場合、長期の計画になることなどを考慮すると現実的な対応ではないと思つている。

市長(2)

①当初は、市民体育館跡地に絞って誘致した方がいいと思つていた

市長(2)

誘致にあたっての将来の負担については、市民に示す必要があるが、候補地が1カ所に絞られていないことや、市民会館の解体も回避できる場合があるなど、様々なケースがあり、現時点で明らかにすることは困難である。

